呼吸器の機能障害の状況及び所見

概ね３ヶ月以内の検査データを記載して下さい。　　（該当するものを○でかこむこと）

1　身体計測

身長　　cm　　体重　　kg

2　活動能力の程度

ア　激しい運動をした時だけ息切れがある。

イ　平坦な道を早足で歩く、あるいは緩やかな上り坂を歩く時に息切れがある。

ウ　息切れがあるので、同年代の人より平坦な道を歩くのが遅い、あるいは平坦な道を自分のペースで歩いている時、息切れのために立ち止まることがある。

エ　平坦な道を約 100m、あるいは数分歩くと息切れのために立ち止まる。

オ　息切れがひどく家から出られない、あるいは衣服の着替えをする時にも息切れがある。

3　胸部エックス線写真所見（　　年　　月　　日）

ア　胸膜癒着　　（無・軽度・中等度・高度）

イ　気腫化　　（無・軽度・中等度・高度）

ウ　線維化　　（無・軽度・中等度・高度）

エ　不透明肺　　（無・軽度・中等度・高度）

オ　胸郭変形　　（無・軽度・中等度・高度）

カ　心・縦隔の変形　（無・軽度・中等度・高度）

4　換気機能（　　年　　月　　日）　＊アについては、下記の予測式を使用して算出すること。

ア　予測肺活量　　␣・␣␣L　（実測肺活量　　␣・␣␣L）

イ　１　秒　量　　␣・␣␣L　（実測努力肺活量　　␣・␣␣L）

ウ　予測肺活量１秒率　　␣␣・␣％ $\left(=\frac{イ}{ア}\times 100\right)$

肺活量予測式（L）

男性　0.045×身長（cm）－0.023×年齢（歳）－2.258

女性　0.032×身長（cm）－0.018×年齢（歳）－1.178

（予測式の適応年齢は男性 18-91 歳、女性 18-95 歳であり、適応年齢範囲外の症例には使用しないこと。）

5　動脈血ガス（　　年　　月　　日）可能な限り室内空気吸入下で計測のこと

ア　O_2分圧：␣␣␣・␣␣Torr

イ　CO_2分圧：␣␣␣・␣␣Torr

ウ　pH　　：␣・␣␣

エ　採血より分析までに時間を要した場合　　␣␣時間␣␣分

オ　耳朶（だ）血を用いた場合：〔　　〕

＊酸素吸入下で計測した場合：採血時の酸素量　　リットル／分

動脈血ガス採血時に酸素を外せない理由

（　　）

6　その他の臨床所見　　＊指数O_2分圧に不均衡がある場合等、障害等級を判断した理由を、判断の根拠となった他の検査データ等と併せて記載下さい。

（　　）